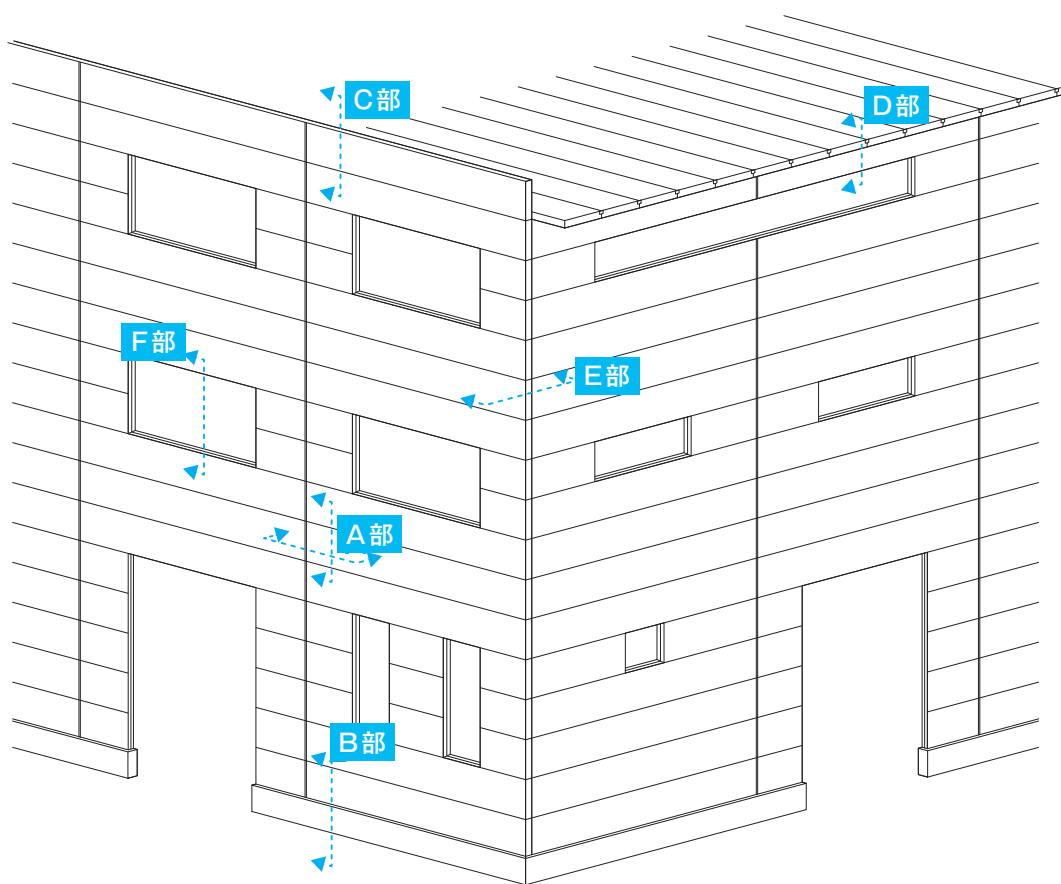


# 6-6

# 横壁HDR構法

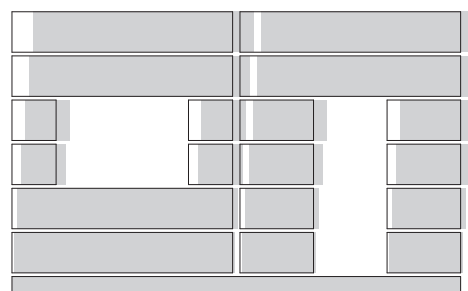
適用範囲	
風圧力	正圧 6,000N/m <sup>2</sup> 以下 負圧 6,000N/m <sup>2</sup> 以下
対象パネル	100mm、125mm、150mm 厚平パネル 100mm、125mm、150mm 厚意匠パネル ※ 100mm 厚意匠パネルの風圧力は正負 2,000N/m <sup>2</sup> 以下

## 横壁HDR構法キープラン

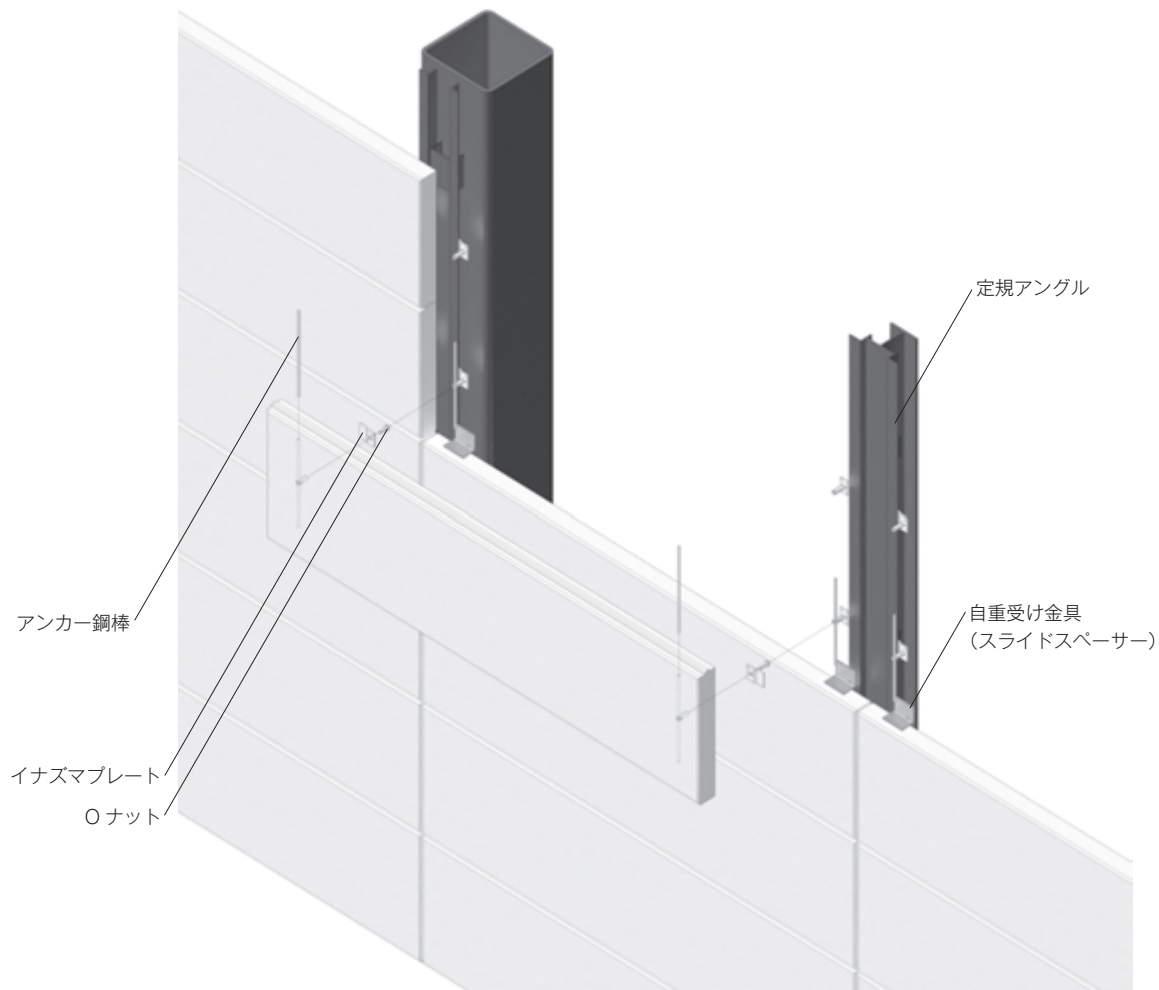


標準構法図A～Fの色文字は別途工事を示します。

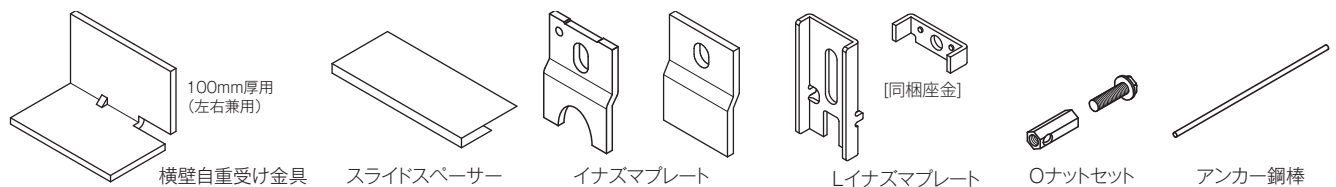
## 地震時のパネルの挙動



## 取付構法の概要



## 横壁HDR構法専用取付け金具

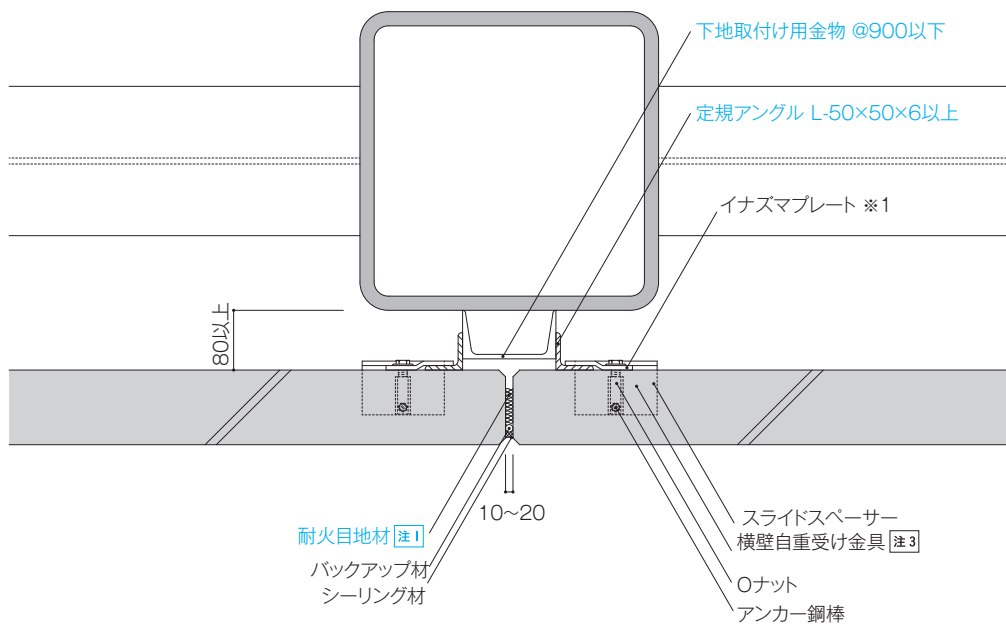
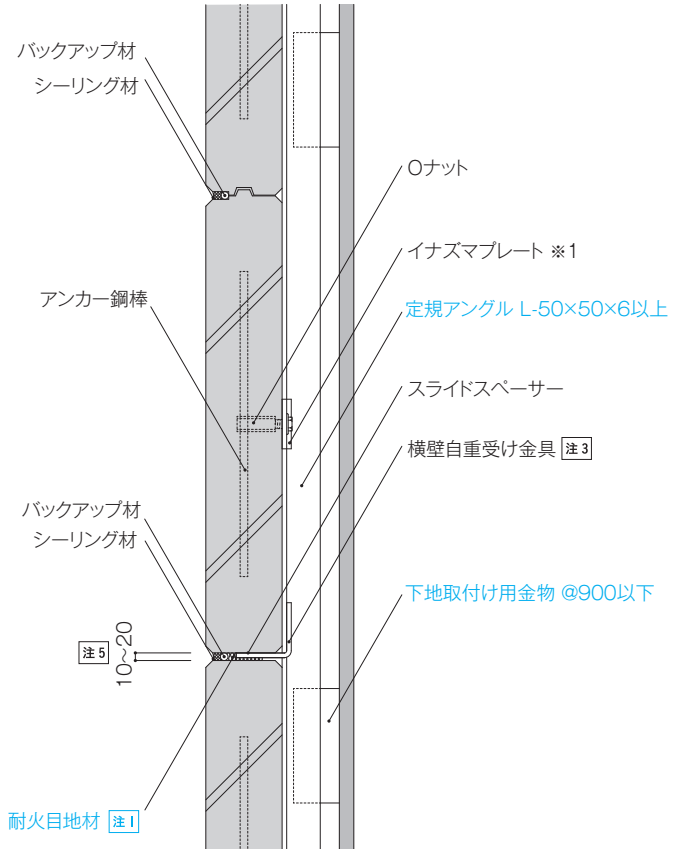
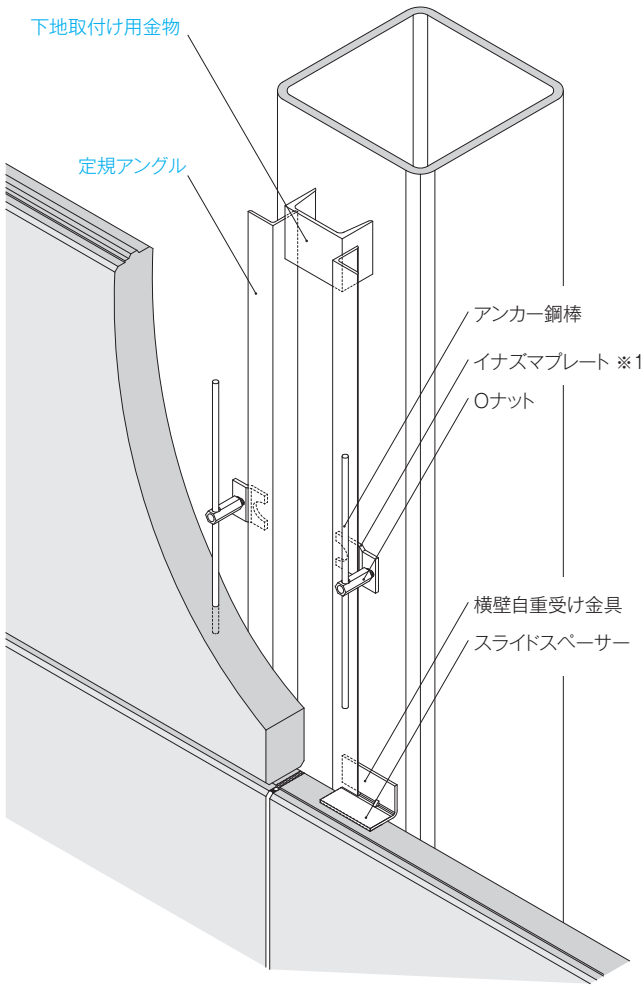


## 横壁HDRの注

- 注1 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てんする。
- 注2 P U B金具：開口部周辺のパネルをP U B金具で取り付ける場合、パネル長さ1,500mm以下で、負の風圧力2,000N/m<sup>2</sup>以下の場合に使用できる。ただし、はね出しで使用する場合は、所定の許容荷重以下であることを確認する。
- 注3 横壁自重受け金具：横壁HDR構法では面内変形追従性能を向上させるために、専用の自重受け金具を用いる。自重受け金具は、パネル100mm厚で5枚、125mm厚で4枚、150mm厚で3枚ごとに設け、スライドスペーサーを必ず使用する。
- 注4 下地(柱)がH型鋼の場合にも、直接パネルが接する納まりでは、下地の不陸によりパネルが損傷するおそれがあるため、必ず定規アングルを用いる。
- 注5 伸縮目地は必ず10～20mm幅で設け、パネルの端部形状はフラットとする。

一般部 / A 部 (イナズマプレート : Z-6K、Z-SW、Z-150 の場合)

※1 : 各イナズマプレートは下記パネルに使用できます。  
 Z-6Kは100厚(意匠・平)、125厚意匠のH-L用、  
 Z-SWは100厚(意匠・平)、125厚(意匠・平)、150厚意匠のH-L用、  
 Z-150は150厚平用です。

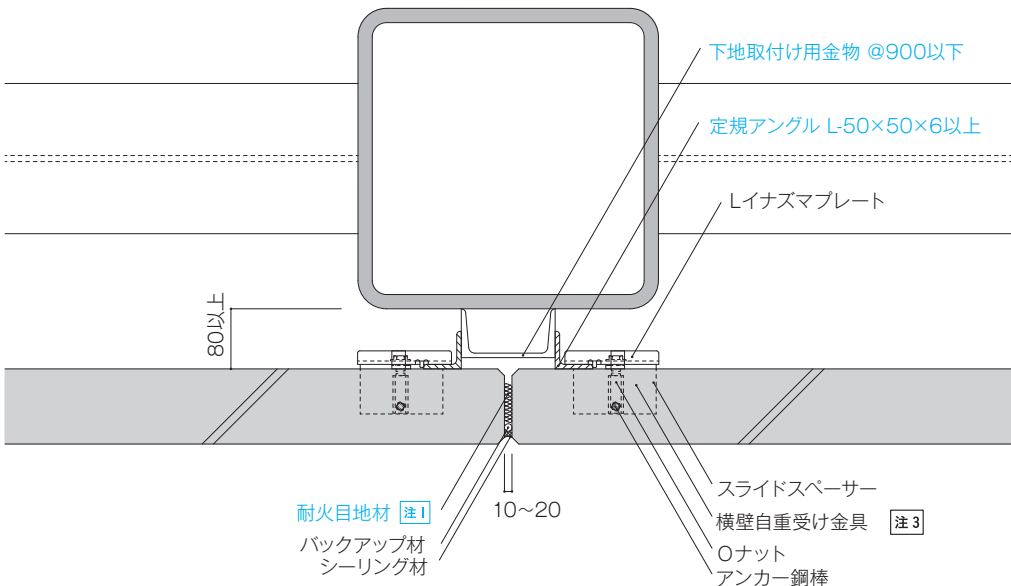
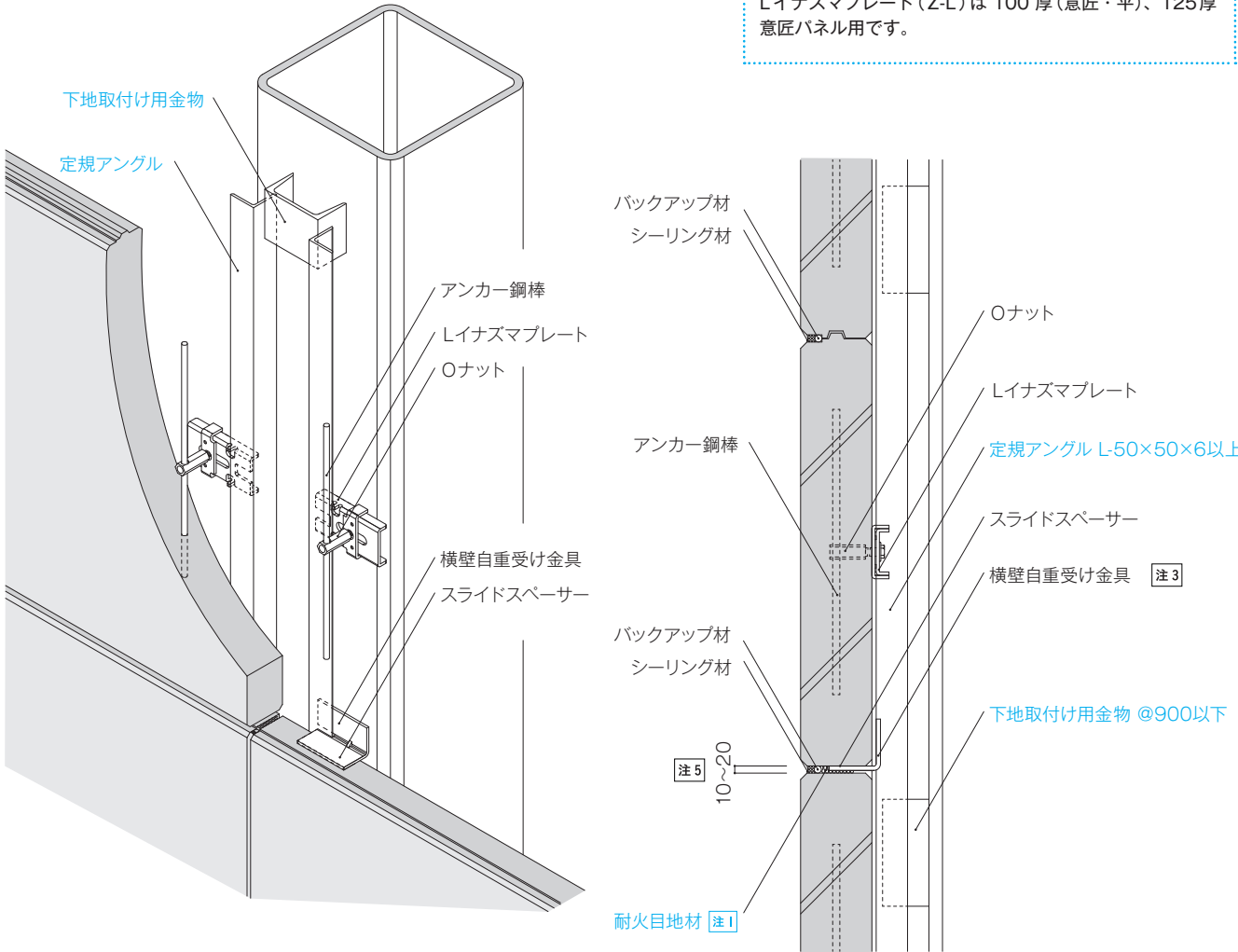


[注1] 耐火目地材: 横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てんする。

[注3] 横壁自重受け金具: 横壁HDR構法では面内変形追従性能を向上させるために、専用の自重受け金具を用いる。自重受け金具は、パネル100mm厚で5枚、125mm厚で4枚、150mm厚で3枚ごとに設け、スライドスペーサーを必ず使用する。

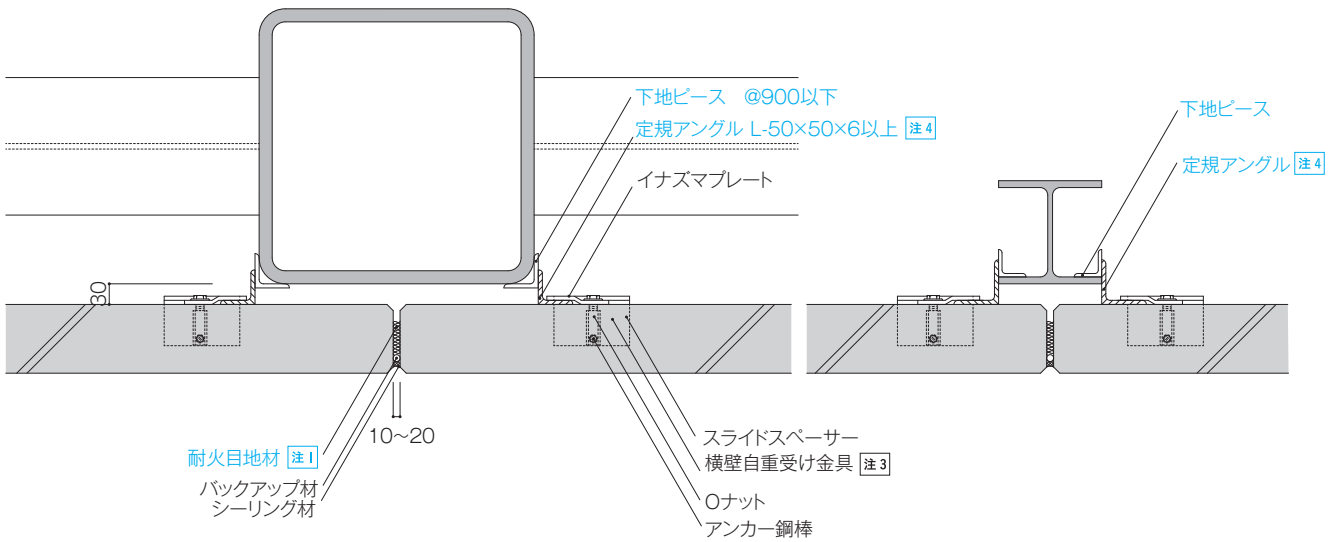
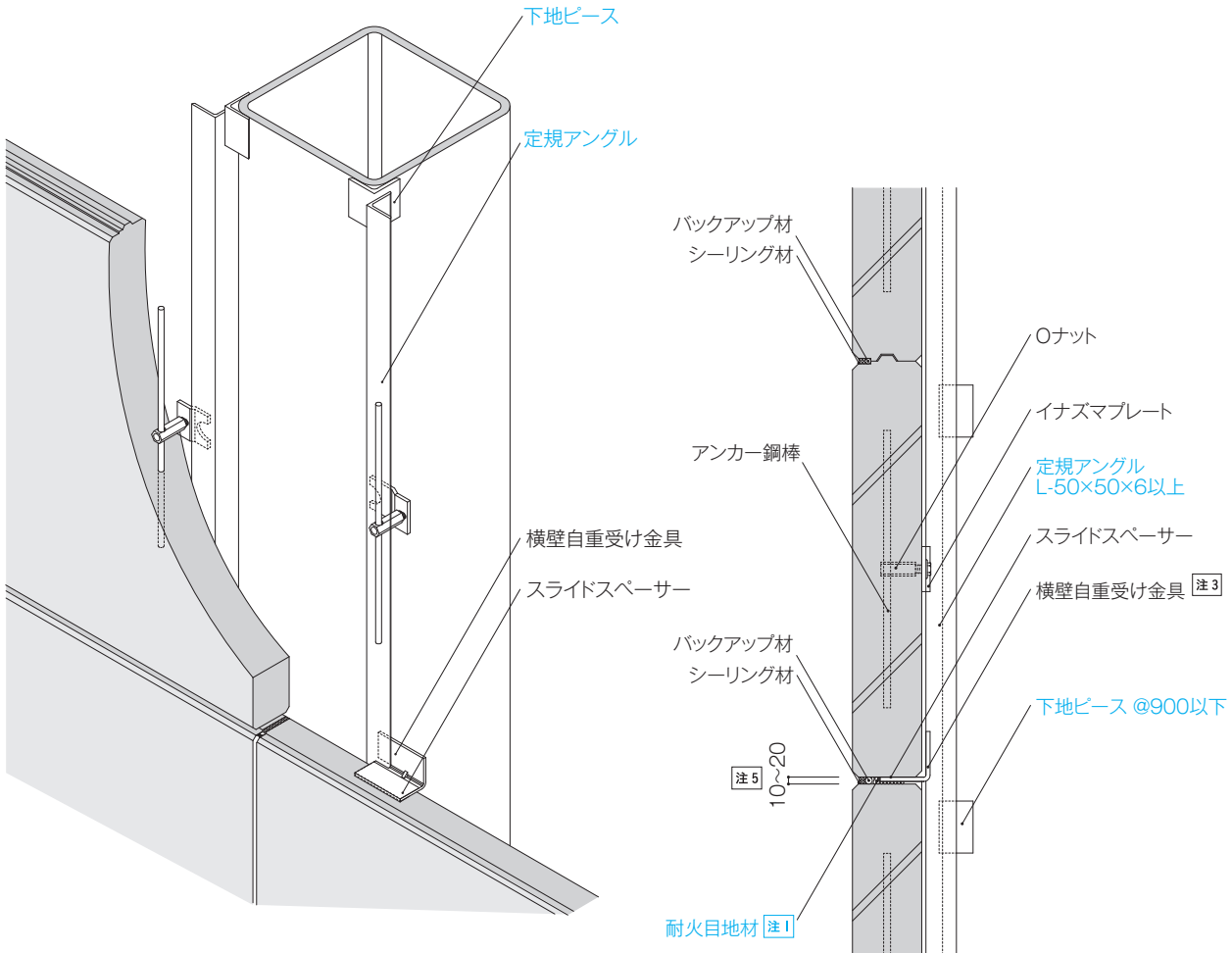
一般部 /A 部 (L イナズマプレートの場合)

L イナズマプレート (Z-L) は 100 厚 (意匠・平)、125 厚 意匠パネル用です。



注5 伸縮目地は必ず 10 ~ 20mm 幅で設け、パネルの端部形状はフラットとする。

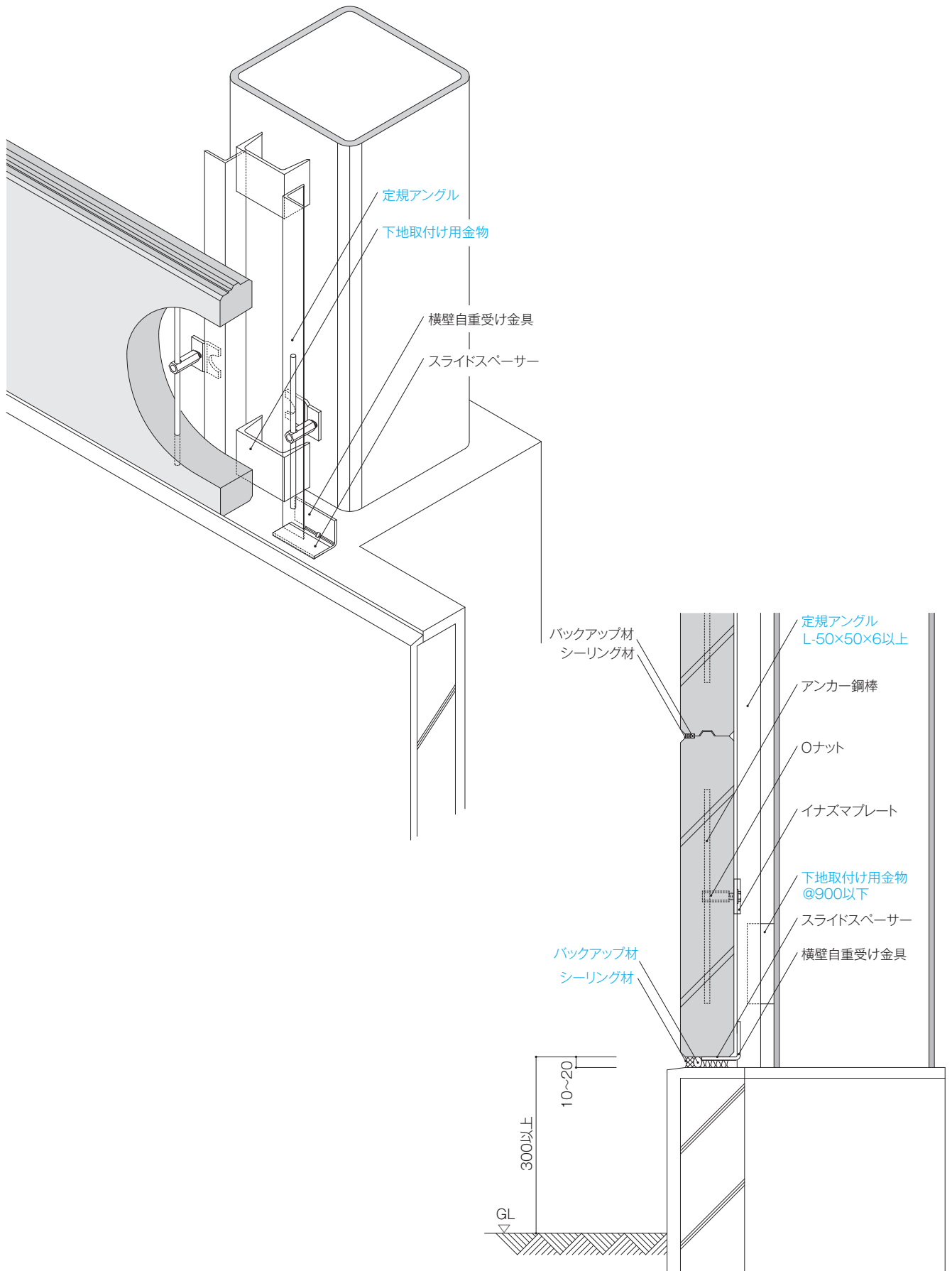
一般部 / A 部（下地ピースを使用する場合）



注1 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。

注3 横壁自重受け金具：横壁HDR構法では面内変形追従性能を向上させるために、専用の自重受け金具を用いる。自重受け金具は、パネル100mm厚で5枚、125mm厚で4枚、150mm厚で3枚ごとに設け、スライドスペーサーを必ず使用する。

基礎部 / B部



I ヘーベル建築

II 外壁

III 間仕切り壁

IV 屋根根

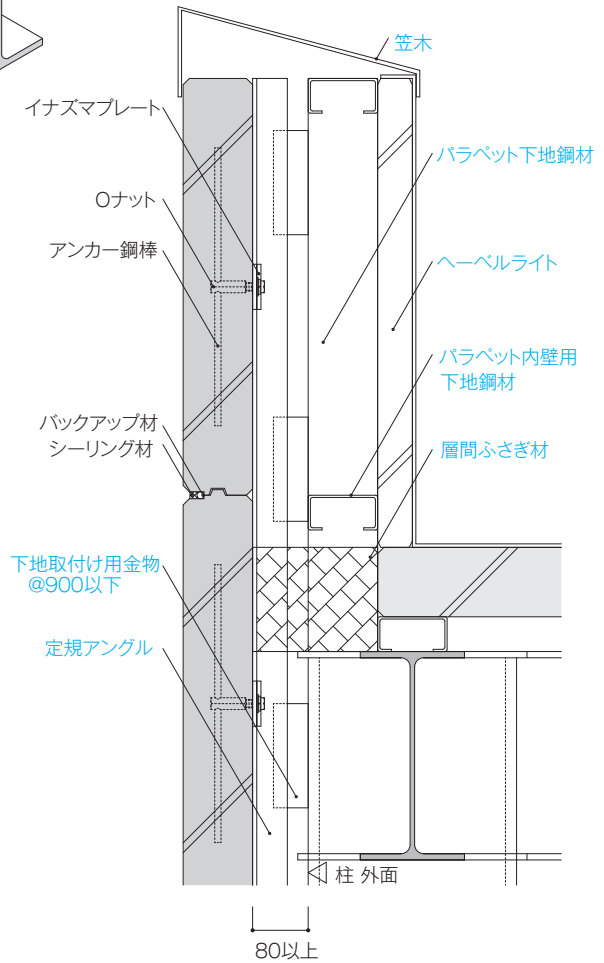
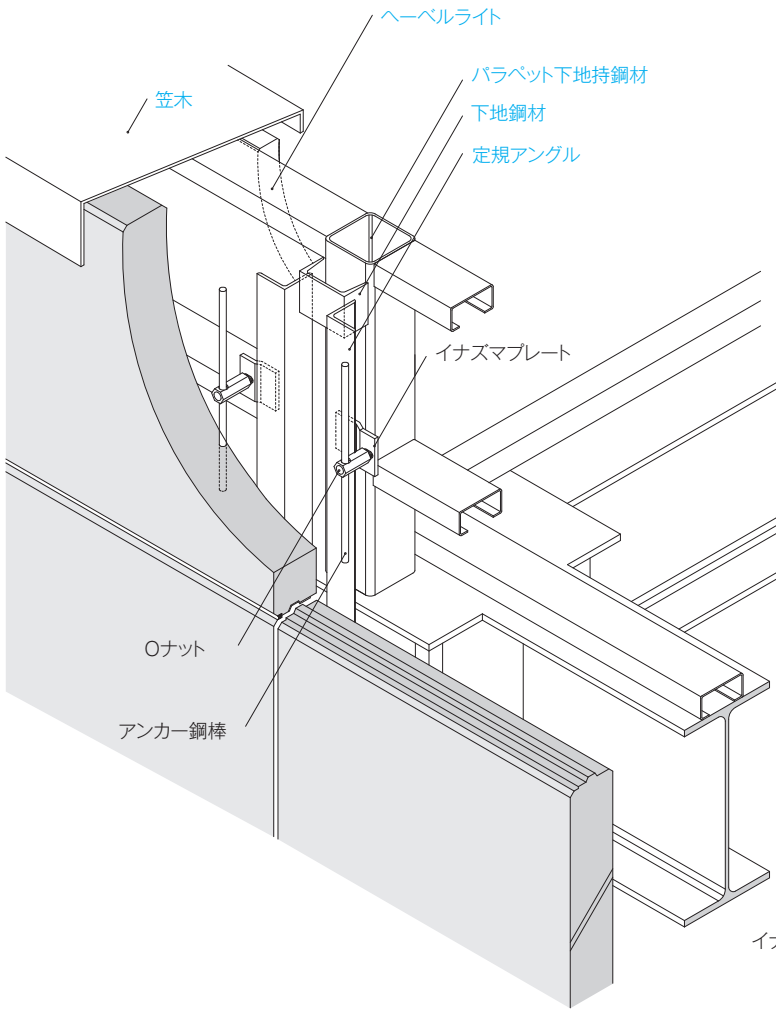
V 床

VI 仕上げと防水

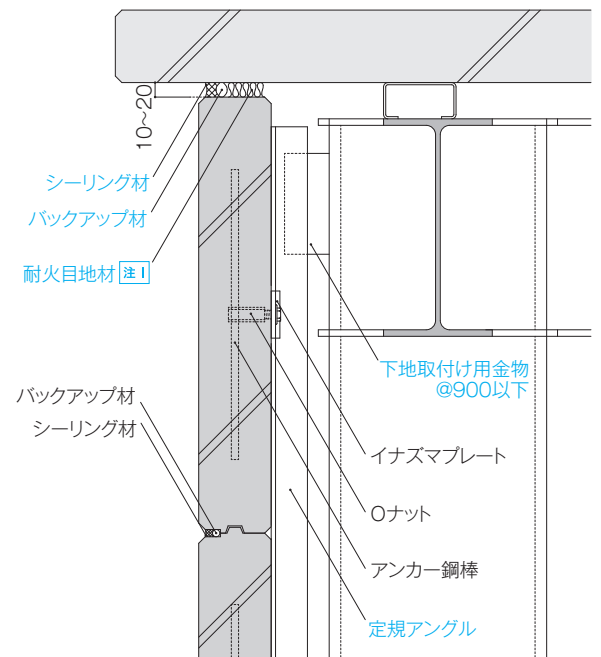
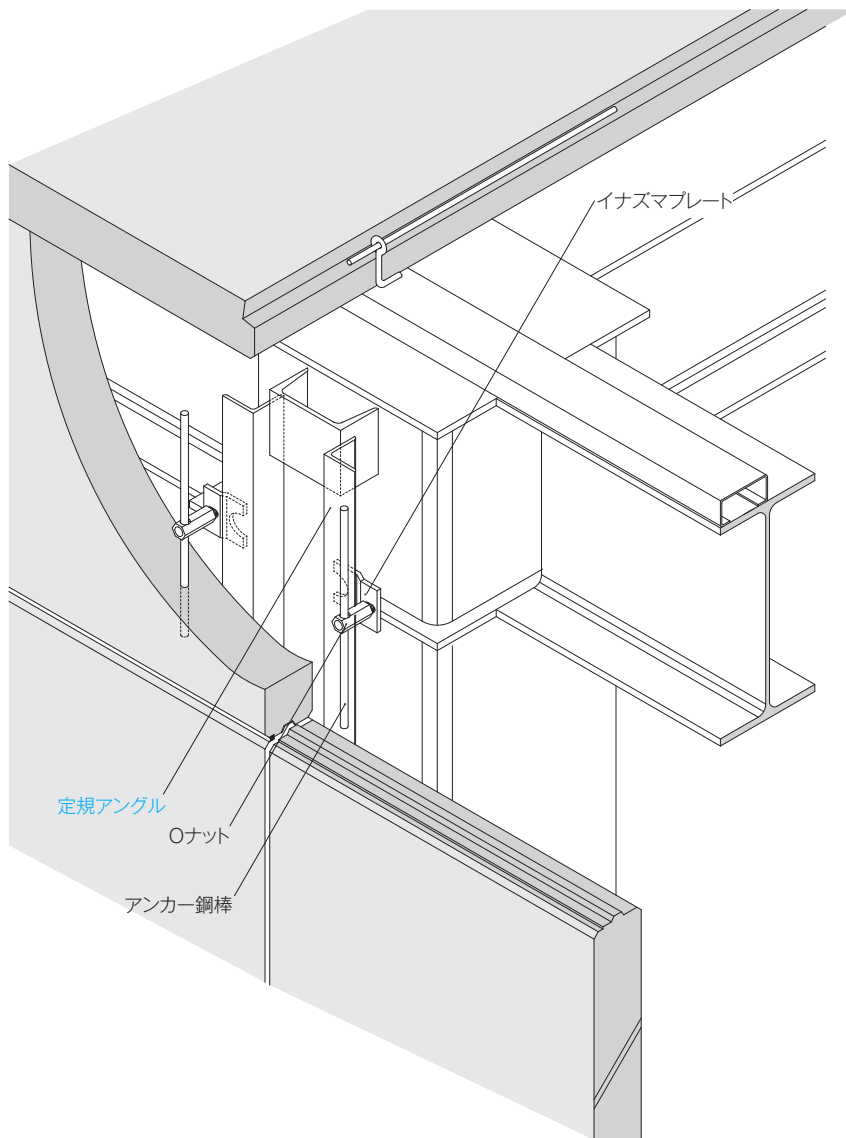
VII 設計時ポイント

VIII 施工

パラペット部 / C 部



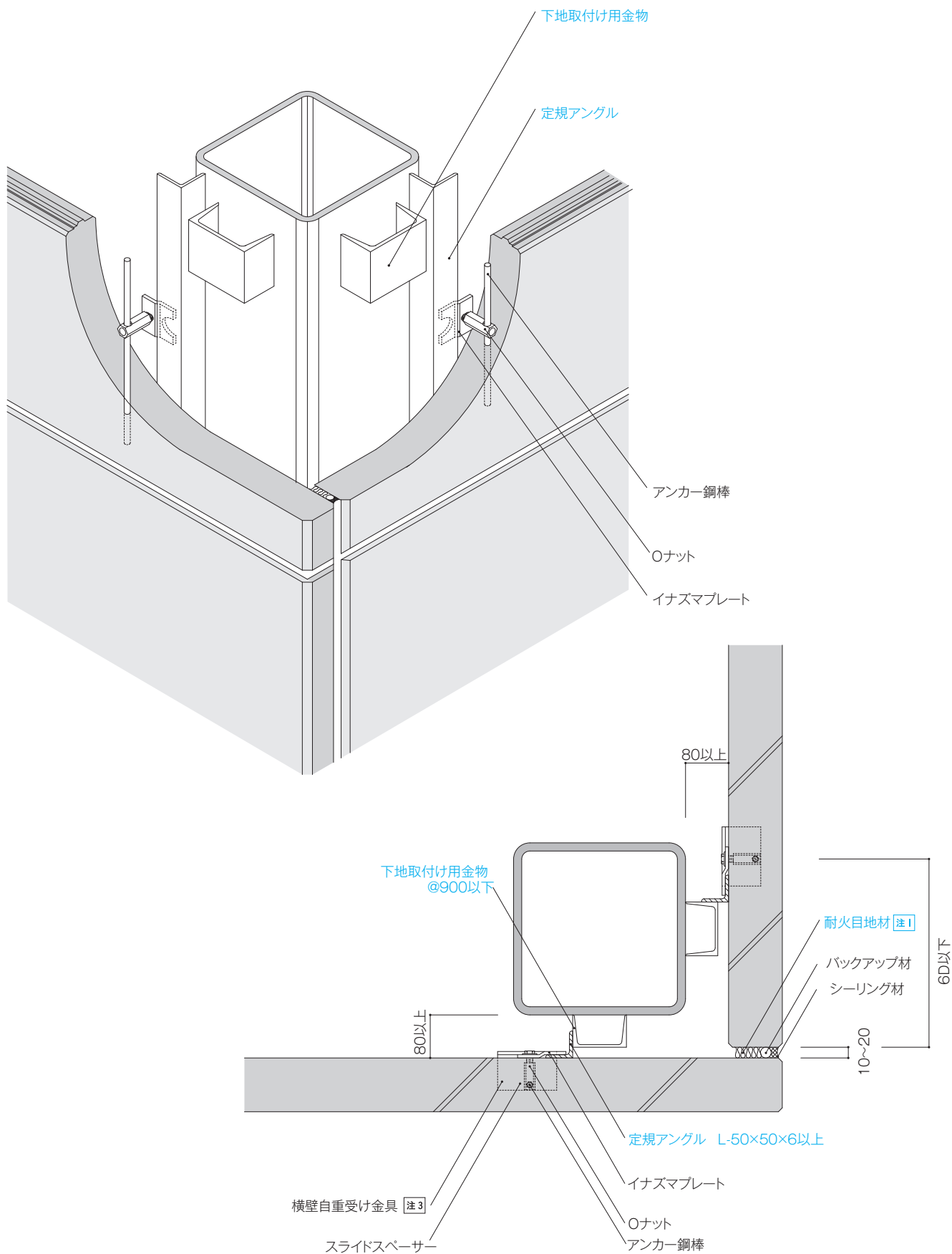
## 軒部 / D部



[注1] 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。

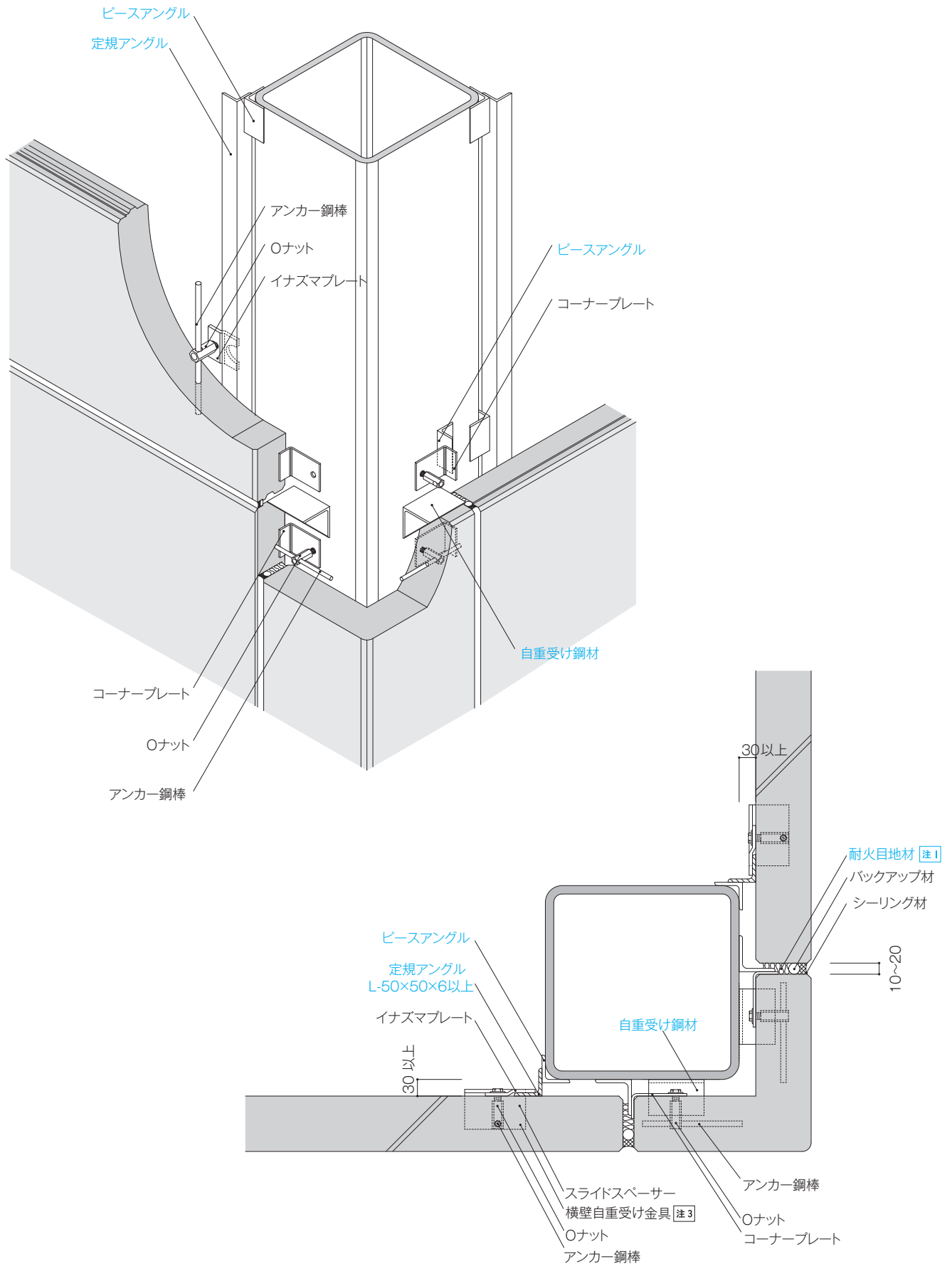


出隅部 / E 部 (平パネルを使用する場合)



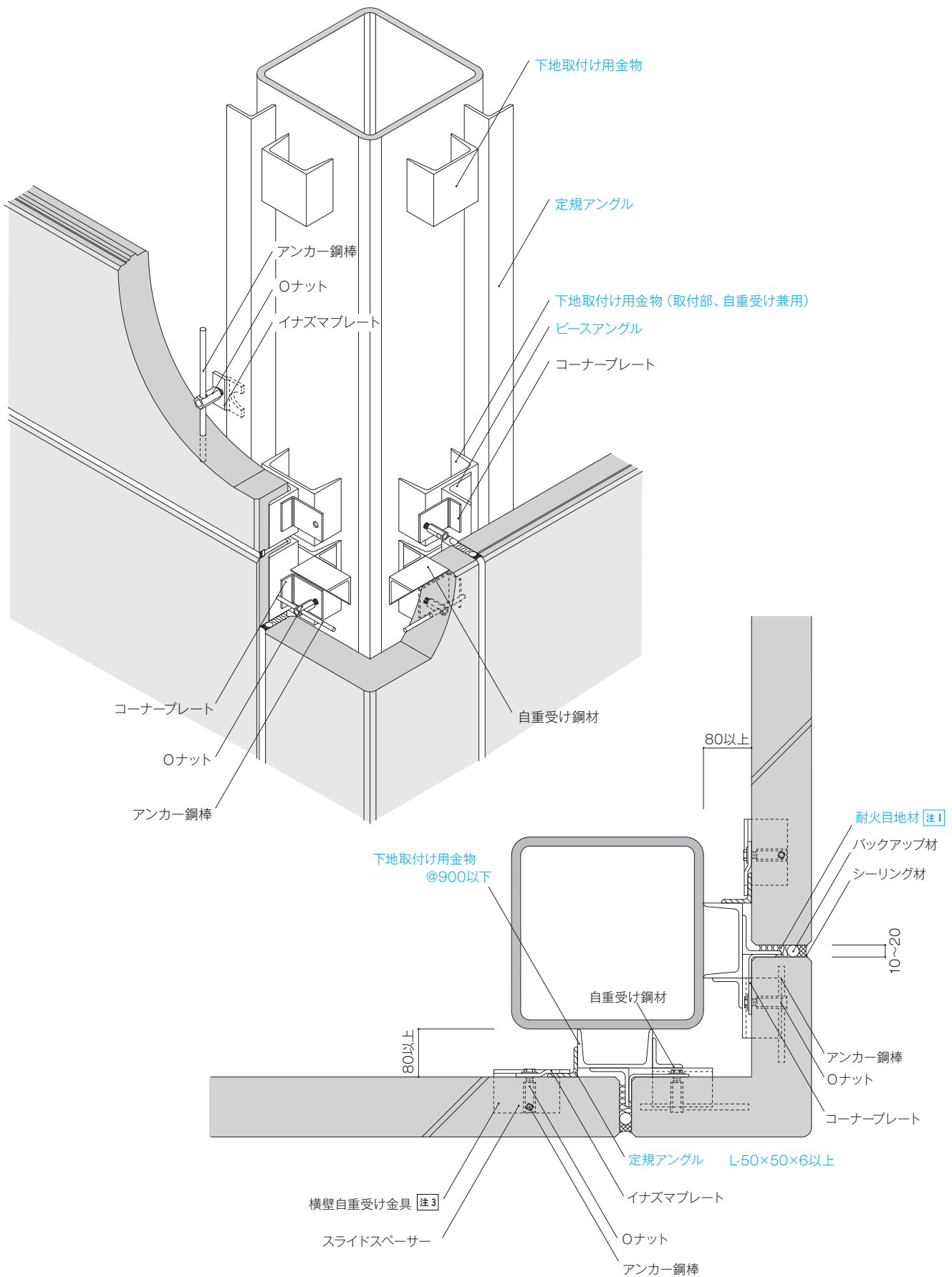
注1 横壁自重受け金具:横壁HDR構法では面内変形追従性能を向上させるために、専用の自重受け金具を用いる。自重受け金具は、パネル100mm厚で5枚、125mm厚で4枚、150mm厚で3枚ごとに設け、スライドスペーサーを必ず使用する。

## 出隅部 / E 部 (コーナーパネルを使用する場合、クリアランス 30mm の場合)



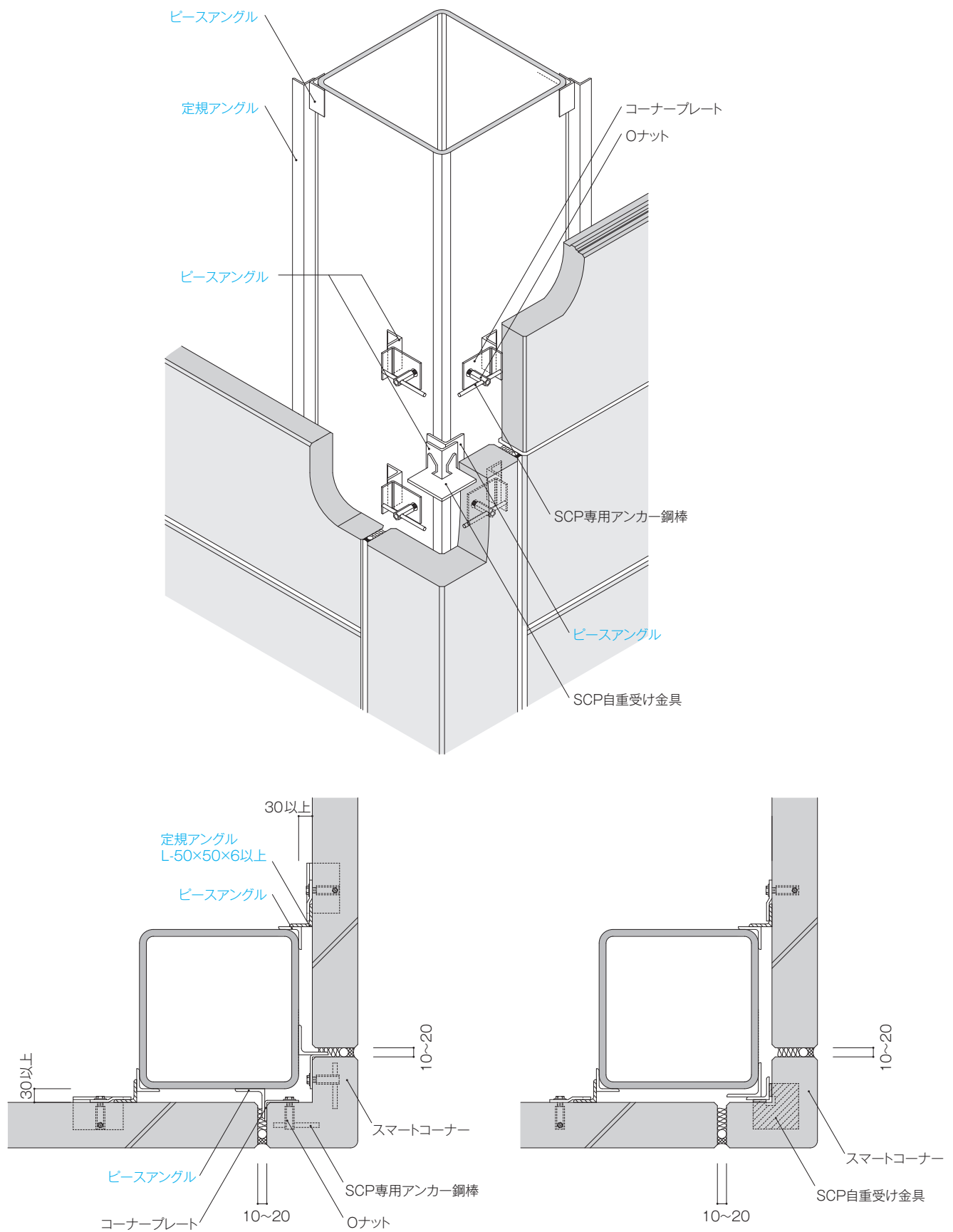
注3 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。

出隅部 / E 部 (コーナーパネルを使用する場合、クリアランス 80mm 以上)



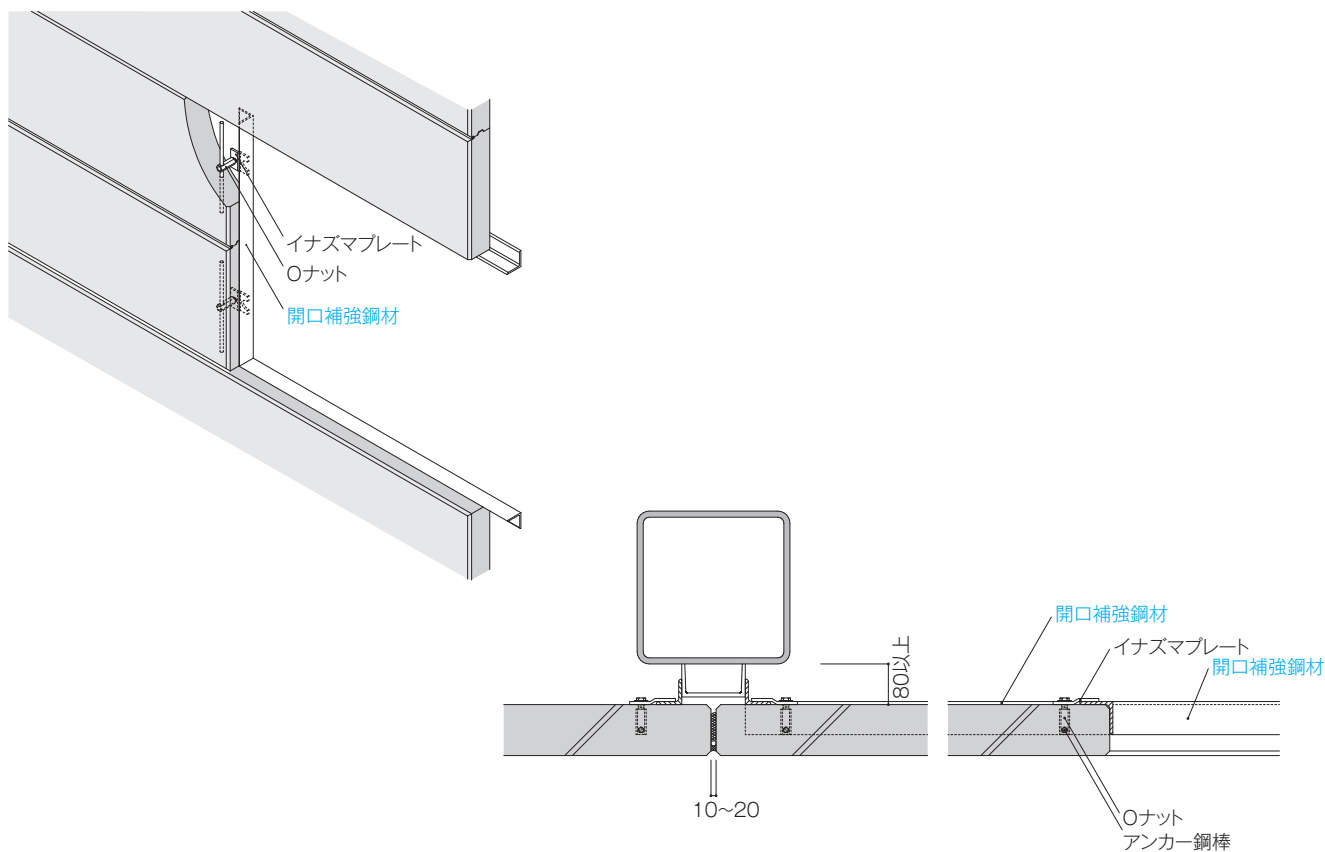
【注1】耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。

## 出隅部/E部（スマートコーナーパネルを使用する場合）

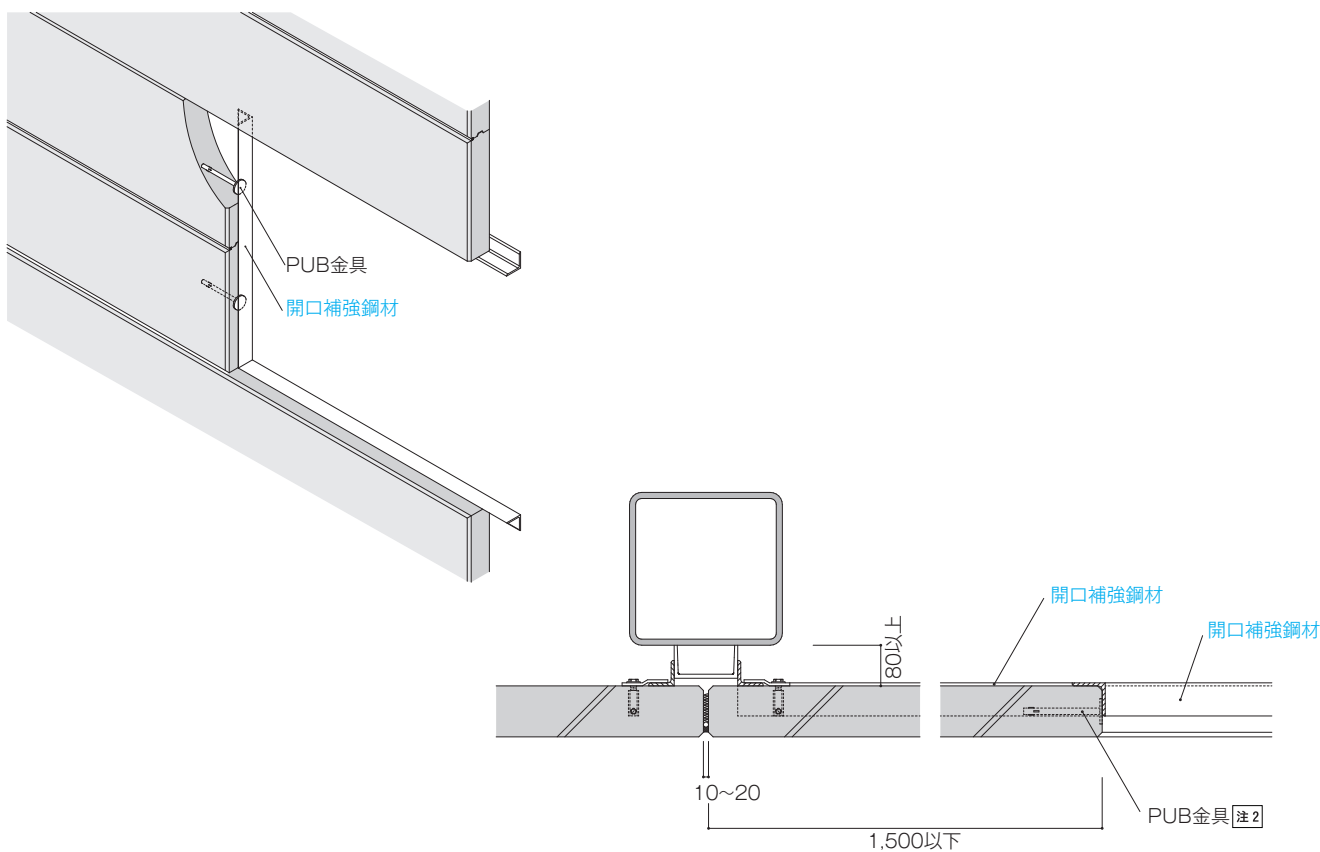


注3 横壁自重受け金具:横壁HDR構法では面内変形追従性能を向上させるために、専用の自重受け金具を用いる。自重受け金具は、パネル100mm厚で5枚、125mm厚で4枚、150mm厚で3枚ごとに設け、スライドスペーサーを必ず使用する。

## 開口部 / F 部 (O ナット仕様)



## 開口部 / F 部 (PUB 金具仕様)



<sup>注2</sup> PUB金具：開口部周辺のパネルをPUB金具で取り付ける場合、パネル長さ1,500mm以下で、負の風圧力2,000N/m<sup>2</sup>以下の場合に使用できる。ただし、はね出しで使用する場合は、所定の許容荷重以下であることを確認する。